

(麻 醉 科)

1. 概 要

2012年は他院からの1名の異動と研修医から2名が入局し、他院への異動が2名と他科への転科が1名あったため、麻酔科医は12名のままである。しかし産休育休の取得も前半1名、後半1名の2名いた。また1名は復帰後も15時までの短時間勤務であった。そのため実働人数は前年より少なかった。

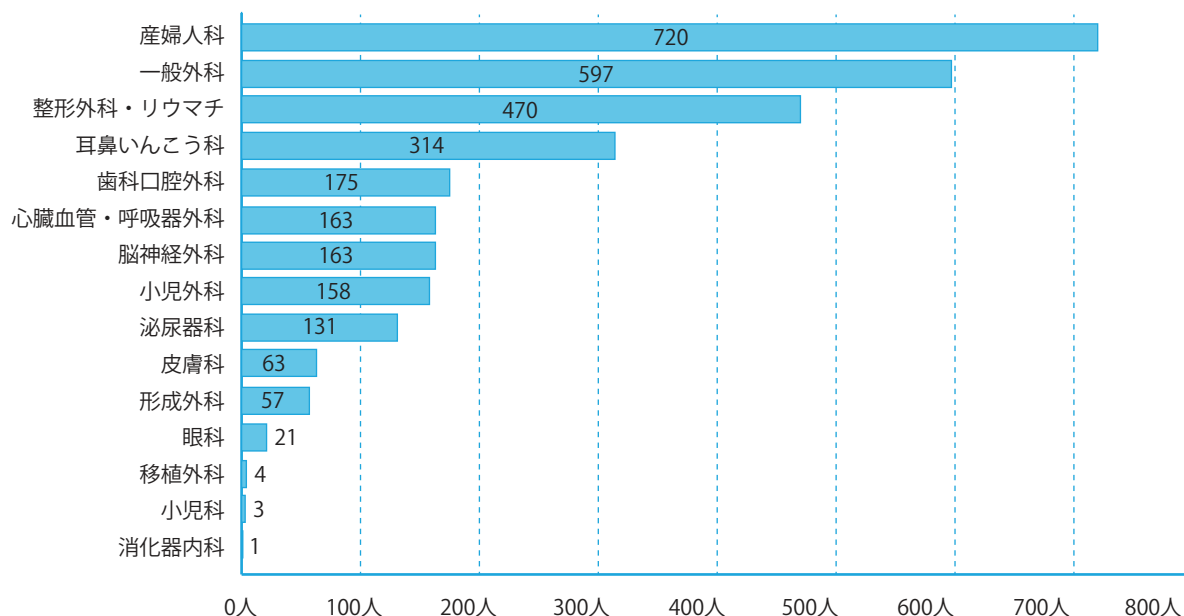
年間の総手術件数は7468件であり、全身麻酔件数は3491件であった。麻酔科管理症例は3039件であり、そのうち麻酔科管理の全身麻酔は2708件であった。麻酔科管理の緊急手術件数は559件もあった。麻酔科医の人数が変わらなくても、1件あたりの手術時間はますます延びる傾向にあり、また合併症が多く麻酔難易度が高い症例も増加したため、担当件数が減っていく傾向にある。

超音波診断装置Venue40 Anesthesiaが1台追加となり、エアウエイスコープも7台に増えた。デスクフルラン気化器が、麻酔器の更新に伴い2台配備された。現在麻酔関連機器や薬剤をかなり整備でき、全国的にも誇れる麻酔環境が整いつつある。

麻酔科

各科別麻酔科管理件数

総麻酔科管理件数:3,040人



学会発表

<麻酔科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	The time, the likelihood of first-attempt success and the number of puncture on Catheterization of the Radial Artery are compared with the palpation group and the realtime-ultrasound -guided group	Y a s u a k i F U J I T A	IARS 2012 Annual Meeting	2012/5/18
2	橈骨動脈カニューレションにおける触診法とリアルタイム超音波ガイド下法のカニューレションまでの時間、初回成功率、穿刺回数の比較	藤 田 靖 明	日本麻酔科学会第59回学術集会	2012/6/8

論文・著書

<麻酔科>

No.	題 名	発表者及び 共同研究者	雑 誌 名
1	救急救命士挿管実習を円滑に終了するための の当院における工夫	藤 田 靖 明	麻酔 第61巻,6号
2	麻酔記録システムに求められるもの—豊橋 市民病院における3回目の導入を通して—	中 田 純	麻酔 第61巻,6号